GIKAI DAYORI

ぎかいだより

おおぞら
OZORA

北海道大空町議会
平成28年（2016年）8月15日発行

41号
平成28年6月 定例会

6月25日女満別幼稚園運動会

地域振興施設～平成29年9月オープン～

●平成28年6月定例会
◇子ども未来づくり教育基金新設……P4
●平成28年5月臨時会
◇熊本地震義援金を議決……P6

委員会レポート……P15
「町民の声」岩原　一さんより……P18

町政を問う!!　～6月定例会～

【一般質問:4名の議員が登壇】

○地震対策について　ほか２件……P9
○スマート農業実現に向けた環境整備について……P10
○小規模事業を支援する条例制定は　ほか１件……P11
○役場庁舎の効率的活用について　ほか1件……P12

大空町　検索
http://www.town.ozora.hokkaido.jp

地域振興施設 ～平成29年９月オープン！～

地域の活性化と住民の生活利便性を支えることを目的とした「地域振興施設」が建設されます。国道334号線と道道網走川湯線の交差点の旧佐々木旅館跡地周辺を建設予定地としています。建設工事に係る契約の締結については６月定例会で原案のとおり可決しました。

建設予定地の旧佐々木旅館跡地周辺

今後の工事スケジュール

平成28年７月	着工
平成29年３月	竣工
４月	外構工事等
９月	オープン予定

１階平面図

２階平面図

施設の概要

区分	内容
施設名	地域振興施設
構造	鉄筋コンクリート造２階建て
床面積	１階1,073㎡　２階823㎡　その他229㎡
駐車場台数	普通車45台、身障者用２台、大型車３台
食堂	テーブル７卓28名、小上がり３室24名スペース等
宿泊	洋室タイプ18室、和室タイプ２室、身障者対応１室
24時間トイレ	男性トイレ７基、女性トイレ５基、多目的トイレ１室

平成28年6月 定例会(6/21・22開催)で決定した主な内容をお知らせします。

（契約の締結7件・条例制定5件・補正予算5件などについて、全議員賛成で可決されました。）

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページＵＲＬ：
（http：//www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/）

平成28年度一般会計補正予算

広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業に15億4,429万円を増額補正！

平成27年度一般会計補正予算について6月定例会にて審議を行い、そらっきーぬいぐるみ制作委託料に18万円、まちづくり宣言ロゴデザイン作成委託料に8万円、町の紹介を行うための移住ＰＲ動画等作成委託料に233万円、廃屋等解体撤去推進補助金に29万円、観光情報クロスメディア発信事業に165万円などを増額補正し、総額は102億6112万円となりました。

内訳は次の表をご覧ください。

補正予算の主な内容

会計	補正予算額	補正後の総額
一般会計	17億1,339万円	102億6,112万円
国民健康保険事業特別会計	△392万円	13億5,924万円
介護保険事業勘定特別会計	1,838万円	7億6,757万円
介護サービス事業勘定特別会計	△64万円	741万円
下水道事業特別会計	4,100万円	3億9,446万円

＜一般会計＞

【歳　出】

事業内容	補正額
広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業	15億4,429万円
そらっきーぬいぐるみ制作委託料	18万円
まちづくり宣言ロゴデザイン作成委託料	8万円
移住ＰＲ動画等作成委託料	233万円
廃屋等解体撤去推進補助金	29万円
観光情報クロスメディア発信事業	165万円
子ども未来づくり教育基金積立金	8,794万円
その他の事業	7,663万円

【歳　入】

事業内容	補正額
農山漁村振興整備交付金	1億4,716万円
農山漁村おみやげ農畜産物販売促進事業補助金	2,705万円
産地パワーアップ事業費補助金	6億9,694万円
地域振興基金繰入金	3,636万円
農業振興負担金	9,231万円
広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業債	7億5,620万円
その他の事業	△4,263万円

広域穀類乾燥調製貯蔵施設（こういきこくるいかんそうちょうせいちょぞうしせつ）とは

「オホーツク管内に6箇所ある豆類調製施設を1か所に集約し、広域で管内全体の豆類を取り扱う施設。オホーツクビーンファクトリー構想として、管内14農協を中心に整備を行うもの」

質疑と答弁

上地議員　旧豊住小学校屋外シャワーユニット設置工事について、設置場所が中庭ということで、近くに保育園があり、道路があるため、保護者が通るが、防犯上どう考慮しているか。

田端生涯学習課参事　旧豊住小学校の裏の体育館等の間のへこんでいる場所に設置し、屋外シャワーユニットについては、排水と給水と電気設備が必要のため、1番適切な場所であるその位置にした経過がある。裏に道路、保育園があるが、見えないようにする予定であり、外から見えないよう柵を設置して防犯上の管理をしていきたいと考えている。

上地議員　女満別幼稚園の壁の塗装について、原材料費10万2000円となっているが、塗料については足りるのか。

田中生涯学習課長　塗装に使用する原材料費は塗料5缶として、事前に建設業協会と協議の上準備している。

契約の締結

①情報セキュリティ強化対策業務契約、②地域振興施設建設工事（建築主体）、③地域振興施設建設工事（電気）、④地域振興施設建設工事（設備）、⑤開陽中央線改良工事契約、⑥女満別運動公園野球場改修工事契約、⑦東藻琴小学校大規模改修工事その2契約、の計7本について地方自治法の規定に基づき議決を行いました。

条例制定

①国民健康保険税条例②家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例③町立幼稚園入園料及び保育料に関する条例等④町立預かり保育所条例の一部改正、⑤子ども未来づくり教育基金条例制定について議決を行いました。

規約の変更

北海道市町村職員退職手当組合規約の変更、②北海道市町村総合事務組合規約の変更、③北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について議決を行いました。

要望意見書

次のとおり、本定例会において、国に対する要望意見書を提出しました。

女満別運動公園野球場改修工事の様子

国への要望意見書を全会一致で採択

採択

網走刑務所住吉作業所用地活用を求める要望意見書（抜粋）

本町の北西部に、法務省が所管する網走刑務所住吉作業所があります。明治36年9月、現在の網走刑務所の建築用材や暖房用の薪炭確保ために伐採が行われたこの土地は、自給自足型農業経営を目指すために、湿地を造田し、丘陵地を開墾するなど、受刑者たちが刑務作業に汗を流した場所です。現在は、その役割を終え、一般の人が入ることができない行刑地として、わが町に残されていますが、澄み切った清流が流れ、貴重な動植物が発見されるなど、ここだけ時間が止まっていたかのような素晴らしい自然が残されていることが分かりました。

私たちは、この住吉作業所において、これまで国が継承してきた、社会復帰思想を基本理念とした受刑者への更生意欲の喚起と適応能力育成の取組に、心より敬意を表し、刑務職員と受刑者たちが、北海道の礎を築いた歴史を踏まえたうえで、その役割を私どもに引き継がせてほしいと考えています。当用地の私どもの活用に、ご理解いただき、地域の要望としてお受け止めいただきますようお願いいたします。

法務大臣・財務大臣　宛

平成28年5月 臨時会(5/24開催)で決定した主な内容をお知らせします。

（専決処分の承認7件・物品の購入2件・補正予算1件について、全議員賛成で承認・可決されました。）

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページＵＲＬ：
(http：//www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/)

平成28年度一般会計補正予算

熊本地震被災地である友好町氷川町に義援金610万円を議決！

4月14日に発生した熊本地震の被災地となった大空町と友好町の氷川町への支援のため義援金等として610万円を補正しました。

また、地域材利用促進事業補助金に765万円、中央さくら団地建設事業に5154万円、東藻琴小学校大規模改修事業に6345万円を増額補正し、総額は85億4773万円となりました。

内訳は次の表をご覧ください。

補正予算の主な内容

会計	補正予算額	補正後の総額
一般会計	1億2,874万円	85億4,773万円

＜一般会計＞

【歳　出】

事業内容	補正額
熊本地震支援対策事業	610万円
地域材利用促進事業補助金	765万円
中央さくら団地建設事業	5,154万円
東藻琴小学校大規模改修事業	6,345万円

【歳　入】

事業内容	補正額
地域住宅交付金	2,474万円
財政調整基金繰入金	849万円
地域振興基金繰入金	765万円
町営住宅整備事業債	2,440万円
東藻琴小学校整備事業債	6,340万円
その他事業	6万円

熊本地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

専決処分

①税条例等、②国民健康保険税条例、③行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について、④平成27年度大空町一般会計補正予算、⑤平成27年度大空町国民健康保険事業特別会計補正予算、⑥平成27年度大空町簡易水道事業特別会計補正予算、⑦平成27年度大空町下水道事業特別会計補正予算、以上7件の承認をしました。

物品の購入

小型除雪車及び女満別武道館・東藻琴Ｂ＆Ｇ海洋センター武道場柔道用畳等の購入

平成10年から使用している小型除雪車について18年が経過し老朽化しているため更新します。

また、柔道用畳については、経年劣化により、クッション性がなく、競技を行う上で危険性が高いことから安全に競技を行うため、取替えを行います。

女満別武道館

物品の購入

購入内容	購入の相手方	購入金額
小型除雪車 １台	北海道川崎建機㈱ 北見支店	2,258万2,800円
柔道用畳 女満別武道館柔道場176枚 東藻琴Ｂ＆Ｇ海洋センター武道場128枚	㈲マル栄さかえや	1,262万5,200円

新しい常任委員会委員を選任しました！

５月臨時会において、大空町議会委員会条例の規定により、各常任委員会等の委員を新しく選任しました。各委員の任期は平成28年５月24日から平成30年４月22日までとなります。今後ともよろしくお願いいたします。

総務厚生常任委員会

田中委員　上地委員
後藤委員　松田委員長　沢出副委員長

産業建設文教常任委員会

品田委員　松岡委員
深川副議長　齋藤委員長　原本副委員長

議会広報常任委員会

上地委員　松田委員
齋藤委員　品田委員長　田中副委員長

議会運営委員会

品田委員　齋藤委員
沢出委員　松岡委員長　松田副委員長

☆上地（うえち）　史隆（ふみたか）議員 …… 9ページ
1．地震対策について
2．空き家対策について
3．地域交通網の維持について

☆田中（たなか）　裕之（ひろゆき）議員 …… 10ページ
1．「スマート農業」実現に向けた環境整備について

☆品田（しなだ）　好博（よしひろ）議員 …… 11ページ
1．小規模事業を支援する条例制定は考えていないか
2．ふるさと納税制度の歳入効果について

☆松田（まつだ）　信行（のぶゆき）議員 …… 12ページ
1．大空町役場庁舎の効率的活用について
2．大空町合併10年の検証について

平成28年第２回定例会では、４人の議員から、町の施策などに関する一般質問が行われました。
※質問、答弁の内容は、要約して掲載しています。
詳細は、議会ホームページ
（http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/）
及び両地区図書館で閲覧できる会議録をご覧ください。

「議会インターネット中継」のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、インターネット上でライブ中継、録画映像を無料で配信できる「ユーストリーム」を活用し、議会審議状況のインターネット中継を行っています。
傍聴に来られない方など、直接議場へお越しいただかなくても、ご家庭などでご覧いただけます。ライブ中継のほか、録画映像の配信も実施しています。（議会後30日以内）

上地　史隆　議員

問　我が町の公共施設・民間住宅の耐震化はどうなっているのか

答　耐震化はすべてが万全ではないため、今後も努めてまいりたい

上地議員　総務省消防庁によると、災害時の司令塔となる自治体庁舎の耐震化率は、２０１４年度末時点で、74・８％に止まり、庁舎を含め公共施設の耐震化の重要性は、震災の度に指摘されるが、財源不足などを理由に後回しになるケースもある。北海道については、道内１７９市町村のうち、住宅耐震化の補助制度を持たない90市町村に対し、制度導入を促すとのことだが、我が町の公共施設、民間住宅の耐震化はどうなっているのか。

山下町長　平成23年度に耐震改修促進計画を策定し、多数利用建築物の耐震化率を90％以上にすることを目標としており、平成23年度以降においても、東藻琴高等学校体育館・教育文化会館の耐震補強工事を実施してきている。耐震化率は、策定時には81・３％で現在は93・１％となっている。

避難所の視点から見ると、27棟中23棟が耐震性を有し、耐震化率は85・２％となっている。学校施設という視点だと、18棟中17棟が耐震性を有し、耐震化率は94・４％という状況であり、主要施設のうち、ゲートボールセンター、総合支所、女満別研修会館、女満別老人福祉センター、東藻琴農村環境改善センター、女満別幼稚園の６施設については、まだ耐震診断を実施していない状況である。今後の更新の計画を勘案した中で、耐震化に努めてまいりたいと考えている。

住宅については耐震化率90％以上を目標としており、策定時は２、８５２戸中、耐震化率68・２％と押さえている。これは、建設年次から算出した数値であるが、建て替えなどにより、現在の耐震化率は72％程度と推定している。詳細な把握については、今年度、計画の見直しの中で、確認していく予定としている。住宅の耐震化について、先進市町村では、診断や改修補助を行っているが相応の費用が必要であり、近隣での実績は少なく、使い勝手がよくなることではないことから実施が少ないと思われる。地震対策としては、家具の固定なども有効で、耐震化率を向上させるものではないが、安全の確保に役立つものであるので、計画の見直しの中で普及も図ってまいりたい。

問　大空町の空き家の現状及び対策は

答　空き家は現在１３４件あり、空き家登録や廃屋等解体補助で対応する

上地議員　道は本年度、空き家対策を進めるモデル市町村を指定し、建築士や宅地建物取引士、司法書士ら専門家を派遣する取組みを行う。目的は、空き家を減らす自治体を支援し、積み上げた実績を他市町村の対策に反映させるということである。専門家の派遣は、市町村が空き家対策特別措置法に基づく空き家対策計画を策定する際などに必要になり、法務や不動産、建築などに関する専門的な意見を参考にしてもらい、より実効性の高い空き家対策を策定してもらう狙いがあり、道が外部の建築士や宅地建物取引士を選定し、派遣費用を負担する。また、モデル市町村での成果も全道に波及させようとしているが、大空町の空き家の現状はどうなのか。

山下町長　本町には１３４件の空き家があり、26年度から、廃屋等解体撤去補助金制度を創設し、26年度は７件、27年度11件、28年度14件の申請があり、この制度によって廃屋の処理につながっていると思う。現状の廃棄物の処理及び清掃に関する条例において、管理が十分できていない空き地や空き家の所有者等に対し文書指導や、直接連絡し、対応をお願いしているケースもある。また、空き家等情報登録制度による利活用にも取り組んでいる。御指摘いただいた事業は、国土交通省がこの４月から始めた事業と、北海道がこれから募集をする事業の二つがある。国土交通省の事業は、空き家の把握や所有者等の調査、民間との連携事業に係る事務経費に対する支援である。北海道の事業は、空き家バンクの開設、跡地活用に向けた事業のための技術職員、専門的な人材アドバイザーの派遣などを支援するものである。

町では、既に空き家の登録制度を運用しており、また、所有者や固定資産税の管財人などの把握もできており、廃屋等解体撤去補助事業の中で建築技術職員を含めた危険家屋の審査も行っている。モデル事業の一部については、既に取り組んでいることもあり、本年度については要望していない。

問 地域交通網の維持への対策は

答 関係自治体と連携して今後も維持に努めたい

上地議員 ＪＲ北海道は、具体的な運行の縮小として、札幌発着の両特急を旭川発着にした上で、札幌、旭川間の特急スーパーカムイとの接続をはかり、また、現在４往復の特急オホーツクを減便する案も浮上しているようだが、このことについて、町はどのような姿勢で臨むのか。

続いて、バス路線の問題について、北海道運輸局が道内の赤字バス路線への補助金を減らす可能性を道やバス会社に通知した問題で、国土交通省が大幅減額をしない見通しを示したことから、バス業界には安堵の声が広がったが、申請した補助金が満額交付されるかについては、懐疑的な見方もあり、バス会社はなお慎重に、国の動向を見極めている状態である。将来補助金が削減ということが現実となれば、どのような影響が出るのか。

山下町長 先月の末にＪＲ北海道から説明があり、網走札幌間の現行４往復を２往復とし、残り２往復は、旭川での乗り換えを行うという内容である。今回の見直しについて、今後さらなる地方路線の運行縮小や経営の合理化についても危惧されるところで、地域における公共交通体系を維持するため、各自治体や関係機関とも連携をして要請活動を行ってまいりたい。

地域公共交通確保維持改善事業費補助制度は、国と北海道と沿線の自治体との協調によりバス事業者に対して必要な支援を行うものである。今後も予算の動向については、しっかりと注視してまいりたい。

田中　裕之　議員

問 スマート農業の整備について

答 現時点での助成は考えていないが、今後ＪＡ等と協議してまいりたい

田中議員 本町の基幹産業は農業であるが、多くの問題を抱えており、将来、大規模な営農を実現するには、さらなる省力化と技術革新が求められる先進的農業、スマート農業というものがある。これは、更なるＩＣＴの利用拡大が必要となってくるわけだが、その環境整備についてはどう考えるか、また、ＧＰＳを利用したオートステア（自動操舵）などの先進的農業技術の導入に向けた農家の負担軽減の考えがあればお聞きしたい。

山下町長 農業は後継者や新規就農者の不足、高齢農業者の引退などから、労働力の不足が大きな問題となっている。解決策の一つとして、ロボット技術や情報通信技術を活用した省力化や高品質生産等を可能にするスマート農業というものがあり、大空町においても進めていかなければならない課題だと考えている。

これらを町が整備するという手法もあるが、町が広範囲にわたる電線や資産を保有することとなり、更新や維持管理の経費が当然かかってくる。さらに、その品質を安定的に、町が事業者となって持ち得ていくことができるかという不安材料などがあって、なかなか整備できない状況にある。

田中議員 ＩＣＴ化に向けた環境整備だが、これからの先進的農業は、情報を素早く取り入れいろんな分野に活用していく必要がある。大空町は、面積が広く、距離が離れると動作に不便が生じることがあるため、光回線を何年かに分けてでも、ＪＡとも連携して、そういう離れた地域の人も使えるようにしていただきたい。

山下町長 国の制度もあるということで、国に対して、また、各政党などに対して要望しているものは、市町村が事業主体になるということだけではなくて、従来の通信事業者が事業主体となり、そこに国の補助金を投入してもらい、さらに市町村も起債の借り入れなどで応援をする仕組みというものを認めていただきたいという提案をさせていただいている。

田中議員 ＧＰＳガイダンスシステムの導入に当たって１００万円から３００万円ぐらいこのシステムを入れるのに掛かるという。農家負担を減らすために、何年間という期限つきでも、町単独というか農協と連携して、そういう助成というのを、ぜひ考えていただきたい。

山下町長 町単独で先ほど言ったこの時点で助成ということは考えていない。ＪＡの皆さん方とも、この問題、この課題については十分協議を持っていないのが現状である。業者団体として、こういったものをどのように考えていくのか、その議論によって私どもの町としての対応も考えていきたい。町にとって、必要な仕組みであろうと考えているので、この導入に向けても、今後、努力をしてまいりたい。

農業機械へのＧＰＳガイダンスシステムの導入

品田　好博　議員

問 小規模事業を支援する条例を制定する考えは

答 条例を制定しなくても、個々の施策を推進していきたい

品田議員 この条例の必要性については、まち・ひと・しごと総合戦略にもあるように、小規模事業者の経営体質の強化や事業継承の円滑化、創業等の促進を柱に掲げて、北海道においても、道の責務や小規模事業者の役割を定めて、各種具体策を盛り込み、小規模事業振興条例として、条例化されたところであり町としても町の責務として、制定の必要はないのか考えをお聞きしたい。

山下町長 道条例では、各地域の実情に合わせた市町村との連携協力を謳っている。連携・情報交換を密としながら、地域経済の活性化を図ってまいりたい。

問 経営発達支援計画策定において商工会との連携はどうか

答 今後の具体的な事業展開の中で協力してまいりたい

品田議員 町長が地域の連携、行政との連携、その中で計画が認識されていたのか、どうなのか、北海道商工連に提出される際に行政はこれを確認していたのか。

山下町長 商工会が作るという意味での制度の中で、町が事務的に関与していきたいというものはございません。

問 ふるさと納税の歳入効果はどうであるか

答 予想していた以上の反響であった、今後も推進していきたい

品田議員 返礼品贈呈事業は、産業の振興にも寄与するものである。一般贈答品のトップは、チーズセットとあるが、バリエーションを公募すると聞いているが、牛肉・豚肉を入れてはどうか。

山下町長 個人や事業者の方々の公募により、ラインナップしているところである。牛肉・加工肉・スイーツといったものを入れさせてもらっている。

問 企業版ふるさと納税の概要について、また、期待するものは

答 事前に国の認定を受けた事業に対して寄附を行うものである

品田議員 寄附する側から見れば自治体政策に対する共鳴だろうと思う。政策の旗をどんどん打ち出すその裏づけは、自らのアイデンティティを作り出してゆくことではないか。

山下町長 オホーツク町村会と東京23区との交流を通じながら、ご協力いただける企業がないか、十分研究しながら取り組んでまいりたい。

平成27年度各自治体のふるさと納税状況

順位	自治体名	金額	件数
全国1	宮崎県都城市	42億3100万円	28万8338件
全国2	静岡県焼津市	38億2600万円	13万8903件
全国3	山形県天童市	32億2800万円	18万1295件
道内1	上士幌町	15億3700万円	7万5141件
道内2	根室市	12億9000万円	5万6607件
道内3	網走市	5億9300万円	1万6029件
道内4	えりも町	5億3900万円	2万4821件
道内5	当別町	5億2500万円	3万1701件
道内6	増毛町	4億7700万円	3万805件
道内7	音更町	3億9100万円	3万3830件
道内8	浦河町	3億6700万円	2万2882件
道内9	古平町	3億6100万円	2万5388件
道内10	浦臼町	3億5300万円	1万5351件
	大空町	5464万円	1818件

ランキングは北海道新聞朝刊より

松田　信行　議員

問 役場庁舎の3階和室の効率的活用は

答 テーブル・椅子を設置し会議等に活用できるよう検討する

松田議員 現在の役場庁舎完成から約30年経過しているが、職員数及び組織機構の見直し、また、事務機器及び関係書類が増える中で、3階和室のスペースの必要性について伺う。

山下町長 3階和室の昨年の利用状況は、49日で利用率は約20%である。他の会議室の利用率が50%を超えているので、利用しづらさが表れているのではないかと推測している。

このような状況から3階和室をテーブル、椅子で会議ができるように、改修について内部でも検討をしているところであるので、ぜひこの機会に、そういった方向でさらには考えてみたい。

問 町民ロビー及び選挙管理委員会スペースの有効活用は

答 障がい者の就労支援に向けて、具体的に協議させていただきたい

松田議員 役場庁舎内の町民のコミュニティの場である町民ロビー及び選挙管理委員会スペースの有効活用について伺う。

山下町長 町民ロビーと選挙管理委員会が執務をしている会議室の活用についてであるが、このロビーは来庁者がお休みいただけるよう配置をしているが、庁舎入口から1番奥にあり、利用はそう多くないのが現実である。

現在、選挙管理委員会が執務している場所は、建設当時は職員の福利厚生として軽食喫茶等の営業ができるように、厨房の設備も備えたティールームとして配置をしていたところである。また執務スペースが少なくなってきているということもあり、会議室としての改修を行い、現在では、時期的に選挙管理委員会や確定申告の時期、また、大規模な統計調査があるとき、事務室として利用しているのが実態である。

松田議員 障がい者の就労支援に苦慮している部分である。これは段階的にでも良いが、まずは町民のコミュニティの場ということから、選挙管理委員会が今使っている台所を整備し、喫茶・食事を提供できるようなスペースの利用ということ、また、障害持った方々が町民に接することによって、人に役に立っている、それが自信になっていろんな効果が考えられるので、そういうことも視野に入れてぜひ考えていただきたい。

山下町長 就労の訓練を希望される方が増えて社会活動の参加というところにつながれば、その面からも大きな効果があるのではないかと、そのように考えている。現在の厨房の所に置いてある物は、いかほどにも他の所に移動できる物ばかりである。先ほどの整理整頓とあわせて片づけることは可能であるので、ぜひそういう方向を持ちながら、具体的な協議をさせていただきたい。

問 大空町合併10年の成果は

答 一定の成果の中で、まだまだ課題も多く今後も取り組んでまいりたい

松田議員 合併10年を振り返り、行財政、産業、医療、福祉、教育環境の充実及び住民サービス等の効果及び成果と今後の課題について伺う。

山下町長 平成18年に大空町が誕生し、10年が経過し、新町建設計画、第1次総合計画によりまちづくりに取り組んだところである。医療費助成の拡充、診療所の建設、さらに教育環境の充実を図るための学校の建設や大規模改修、また、各種産業の振興、環境保全対策にも取り組んだところであり、制度として自治基本条例の制定をさせていただいた。

合併した町の効果としては、人件費の縮減、交付税の特例措置、合併特例債の活用などがある。これらの効果を生かしながら、現在取り組んでいる総合戦略の人口減社会を見据えた各種事業の財源に充てさせていただいている。人口減少が進んでいる中で、これも大きな課題として取り組んでいかなければならない。課題はなくなることはないし、まだまだやりたいこと、しなければならないことがあるというのが実態かと思う。

渡邊教育長 教育委員会では、第1次大空町総合計画で教育の基本目標として定められたのびやか文化のまちづくりを具現化するため、大空町教育推進計画を策定し、これまで各種教育施策に取り組んできたところである。大空町教育推進計画では、大空町教育の基本理念を二つ定め、一つは、新しい大空町教育の基盤づくり、もう一つは、新しい町の住民としての自立と共生である。

学校教育については、豊住小学校と女満別小学校の学校統合をはじめ、女満別小学校の改築や女満別中学校の耐震補強、東藻琴小中学校の大規模改修事業、さらにはスクールバスの更新などに取り組み、教育環境の充実を図ることができたところである。また、補助教員や外国語活動指導員、ALT、特別支援コーディネーター、巡回図書館司書など配置することにより、教育内容の質の向上が図られた。幼稚園と保育園の経営を教育委員会が一体的に管理運営することで、幼保体制の確立を図ることもできたと考えている。

社会教育については、東藻琴B&G海洋センターの改修や、教育文化会館のリニューアル事業に対し補助を行うなど、スポーツや芸術文化施設の整備、充実が図られている。また、文化団体や体育協会が一つになるとともに、手づくりの町民舞台や町民運動会など、これまでの各種事業、行事への多くの町民皆様の参画により、町民相互の絆づくりや一体化に大きな成果があったものと認識している。

松田議員 合併当初からここに10年間振り返って、公債費の推移、基金残高は、これはどのように移り変わってきたのか、どういう効果が表れたのか。経常経費削減の中で、職員の削減、人件費の部分、これはどうであったか。

藤田総務課長 公債費の推移は、10年間で約63億5700万円減の143億3800万円、基金残高は26億1400万円増の55億5900万円、職員数は50名減の135名、人件費は約3億5000万円減の11億9500万円である。

問 大空町合併10年の検証報告書の作成は

答 現在のところ、作成は考えていない

松田議員 近年、平成の大合併10年を迎えた市町村で、合併の効果と課題を明らかにし、今後の行財政運営に資することを目的として、合併10年検証報告書を作成している市町村があるが、当町においての検証報告作成について伺う。

山下町長 検証報告書については、第2次総合計画を策定するに当たり、アンケート調査のほか、さまざまな機会をとらえて町民の方々にこの10年間のまちづくりについてお尋ねをして、さまざまな意見をいただいたところである。

町民の意向を踏まえて、各団体から御推薦をいただいた30人の町民から成る策定審議会において、合併後の10年間の事業を検証し、課題を整理し、慎重な審議をいただいたとも思っている。

そのため、改めて事業等を羅列をしながら検証し、報告書を作成するということについては、考えていない、ぜひ御理解を賜りたいと思う。

一般質問

合併10年記念で行われた町民ＢＩＧＤＡＹの様子

議会だよりに掲載する、『町民の声』『有料広告』を募集しています！

議会だより裏表紙に掲載していますが、『町民の声』として、町民の方の議会に対する思いや考え、また、『有料広告』として、町民サービスの向上を目的とし、民間事業者等の広告を掲載しています。申し込みいただける方及び事業者につきましては、議会事務局までご連絡ください！

お願い

議長宛ての案内文書については、事前に公務などの日程調整が必要になるため、必ず議会事務局まで「持参」または「郵送」でのお届をお願いします。

送り先：
〒099-2392
大空町女満別西3条4丁目1番1号
大空町議会議長
（大空町議会事務局）宛

請願陳情をされる方へ（書式）例

（表紙）
○○○○○○○○○に関する
請　願　書
（陳情書）
紹介議員○○○○○ ㊞

※陳情には紹介議員は要りません。

（内容）
○○○○○○○○○○○に関する請願（陳情）
要旨 ○○○○○○○
理由 ○○○○○○○
○○○○○○。
平成　年　月　日
大空町議会議長 様
大空町○○○○○
○○○○○ ㊞

※請願には紹介議員が必要ですが、陳情に紹介議員は不要です。

【お問い合わせ先】
大空町議会事務局
0152-74-2111（内線266）

委員会レポート

OZORA MEMANBETSU HIGASHIMOKOTO

総務厚生、産業建設文教、議会広報の３常任委員会では、議会閉会中も委員会が所管する項目などの調査を随時行っており、その概要をお知らせします。

総務厚生常任委員会

●第１回〔平成28年４月26日開催〕

主な審議項目	説明概要等
第２次網走市大空町定住自立圏共生ビジョン	・平成28年度から平成32年度までの５年間の具体的な取組内容を記載した新しいビジョンに最新数値を反映
東藻琴診療所への医師派遣	・４月から美幌国保病院より東藻琴診療所への週１回（水曜日）の医師派遣
◆上記のほか、「ふるさと応援寄附金」など全４項目を審議	

●第２回〔平成28年５月16日開催〕

主な審議項目	説明概要等
テレビ会議システム	・総合支所窓口で支所担当職員不在時でも来庁者対応を可能とする映像システムの整備
東京農業大学との包括連携協定に係る施設使用料の減免	・協定による東京農業大学の公共施設使用時の使用料の減免
◆上記のほか、「税条例の一部改正」など全５項目を審議	

●第３回〔平成28年５月24日開催〕

主な審議項目	説明概要等
正副委員長の互選	・委員会構成の変更により、正副委員長を互選
◆平成28年第１回臨時会と同日開催	

●第４回〔平成28年６月８日開催〕

主な審議項目	説明概要等
温泉熱供給施設貯湯槽水位制御機器の取替え	・温泉熱供給施設内の貯湯槽における水位制御機器の故障による取替工事
ハラスメントの防止等に関する指針の策定	・職場内におけるハラスメント防止規定等の整備
国民健康保険税条例の一部改正	【所得割】後期支援分△0.4％、介護分△0.23％、【均等割・平等割】介護分△200円、【限度額】医療分　＋2万円、後期支援分　＋2万円への改定及び引き上げ
特別養護老人ホーム東藻琴福寿苑増築事業に係る町の支援	・東藻琴福寿苑増築整備に係る補正予算説明
◆上記のほか、「廃屋等解体補助金の申込み状況」など全７項目を審議	

産業建設文教常任委員会

●第１回〔平成28年４月26日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
広域穀類乾燥調製貯蔵施設の整備	・オホーツク管内14ＪＡでの広域穀類乾燥調製貯蔵施設の整備
東藻琴小学校大規模改修事業	・平成28年度に行う東藻琴小学校大規模改修事業に係る補正予算説明
◆上記のほか、「大空町の新しい高等学校の形態」など全６項目を審議	

●第２回〔平成28年５月16日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
地域材利用促進事業及び住宅リフォーム促進事業	・両補助事業の申請状況等
社団法人アグリーンサポートの設立	・平成28年3月16日設立の法人の概要説明
◆上記のほか、「大空町酪農・肉用牛生産近代化計画の作成」など全４項目を審議	

●第３回〔平成28年５月24日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
正副委員長の互選	・委員会構成の変更により、正副委員長を互選
◆平成28年第１回臨時会と同日開催	

●第４回〔平成28年６月８日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
広域穀類乾燥調製貯蔵施設の整備	・広域穀類乾燥調製貯蔵施設の整備スケジュール及び予算措置等の説明
観光情報クロスメディア発信事業	・ラジオ局への観光事業発信等を目的とした広告費
大空町子ども未来づくり教育基金条例制定	・子どもたちが未来に向かって自立・共生し、たくましく生きるための基礎づくりを推進する事業財源の確保のための基金に係る条例整備
◆上記のほか、「農業農村多面的機能支払交付金事業実績報告」など全６項目を審議	

合　同　常　任　委　員　会（２常任委員会合同での調査）

●〔平成28年４月26日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
地域振興施設の建設等について	・今後の建設スケジュールなどの概要説明

●〔平成28年６月８日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
地域振興施設の建設等について	・今後の建設スケジュールなどの概要説明
国民健康保険税条例の一部改正	【所得割】後期支援分△0.4%、介護分△0.23%、【均等割・平等割】介護分△200円、【限度額】医療分　＋2万円、後期支援分　＋2万円への改定及び引き上げ
◆上記のほか、「平成27年度滞納整理に伴う町税等の不能欠損及び平成27年度末滞納状況」など全３項目を審議	

議会活動掲示板

【女満別消防演習　6/ 5】

「女満別消防演習」が行われ、各議員が出席しました。

【第44回交通安全大会・第66回社会を明るくする運動大会　7/ 1】

交通事故の撲滅と犯罪のない健全で明るく住みよい町づくりをめざして、各学校の児童・生徒が参加しました。大会決議や標語の入選作品発表、旗の波運動が行われ、各議員が出席しました。

【東藻琴地区殉公者慰霊祭　7/ 2】

「東藻琴地区殉公者慰霊祭」が行われ、各議員が出席しました。

【全道町村議会議員研修会（札幌市）　7/ 5】

「全道町村議会議員研修会」が札幌市で開催され、本町議会から９名の議員が参加し、研修を受けました。

◇「ひとを動かし、まちを動かす」
講師：立正大学客員教授　高野　誠鮮 氏

◇「日本の行方～政局・政治展望」
講師：東京新聞・中日新聞
論説副主幹　長谷川　幸洋 氏

町民の声

岩原　一 さん
（日の出町第2）

～芸術と文化による地域発展を目指して～

女満別に生を受け、40年近くが過ぎました。

時々散歩に出掛けては、変わらない光景を懐かしく思う半面で、慣れ親しんだ町が少し小さくなっていることに気付かされ、一抹の寂しさを感じますが、新たな施設が出来たり、店舗が開店する話を聞くと、この町のこれからが感じられ、期待に胸が高鳴ります。

最近では大空町の総合戦略に触れる機会もあり、支援制度の充実には驚かされますが、中でも私が注目したのは、いかに人を呼び込むかという地域づくりについてです。

何かとオンリーワンが叫ばれる時代ですが、地方こそ個性が必要ではないでしょうか?

かつてふるさと創生事業において、女満別駅周辺が整備されたように、芸術や文化の面で活性化が出来ないものかと時々思います。

例えば一風変わった彫刻や、子どもたちの絵画を町中に溢れさせたら面白いとは思いませんか?

近隣町村が同じことをやるよりも、独自の個性を活かすことが出来れば、地方はまだまだ成長すると私は思います。

「面白きこともなき世を面白く」とは高杉晋作の辞世の句ですが、面白くもない地方から面白い大空町を生むのもまた、議会の役目ではないでしょうか？

議会の傍聴はお気軽に!

◆定例町議会は、年４回（３月・６月・９月・12月）に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。

◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

9月定例会は、

9月12日(月)から

開かれる予定です。

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

大空町議会だより 第41号 平成28年(2016年)8月15日発行
■発行／大空町議会 ■編集／議会広報常任委員会 ■印刷／株式会社須田製版
〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号 TEL(0152)74-2111・FAX(0152)74-2191

UD FONT
VEGETABLE OIL INK
本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。
また環境にやさしい植物油インキを使用しています。